

輸入増を防ぐ役割	交渉結果
<ul style="list-style-type: none"> ○ 関税関税制度 (コンビネーション輸入) ○ 分統点価格 (524円/kg) △ 高価格帯の従価税 (4.3%) ○ 低価格帯の従価税 (482円/kg) 	<p>維持</p> <p>維持</p> <p>4.3% → 0% (10年目)</p> <p>482円/kg → 50円/kg (10年目)</p>

関税制度の輸入増を防ぐ役割について、二重丸、丸、三角で比較したパネルをもって説明。輸入増を防ぐ役割が二重丸なも

赤澤議員が説明用に使用したパネル

PPP交渉では輸入増を防ぐ役割が二重丸である差額関税制度と分岐点価格を維持したため、丸と三角である従価税が10

野党議員から指摘のあった金額ベースで豚肉の輸入額の8割以上を占めるタリフラインの関税撤廃は事実か、国内養豚農業に大変な影響を与えるのかと質問。

政府の第4回規制改革推進会議が11月7日に開かれ、攻めの農業の実現に向けた農協改革の方針が示された。同方針では、全農がその潜在力を大きく開花させ、農業者の協同組織という原点に立ち返り、農業者の立場

であることを明確にして「攻めの農業」の実現をリードする組織へと生まれ変わることが期待される。その目ざすべき改革の方向については①生産資材購買事業の抜本的見直し②新市場開拓者への

生産資材購買事業の抜本的見直しについて全農は、生産資材の購買機能を担う組織を抜本的に改革。「生産資材メーカーの販売代理」ともみられる購買組織は縮小し、仕入れ販売契約の当事者にはならない、農業者の適切な生産資材調達を支援

スペインで和牛肉のプロモーション

日本畜産物輸出促進協会から日本産和牛の素晴らしさを訴えた。

しさを秘密などを紹介し、和牛の正しい知識普及を図られた。カット実演ではリアブ羅斯、サイロイン、ランプ、カタロ

牛と日本産和牛の違い、飼養管理、熟成について多くの質問があった。

講演とカット・調理実演を行ったミートコンパニオンの植村光一郎常務は、日本産和牛について「知名度は高いが、実際に食べた経験者はきわめて少ないこと、和牛の子牛がスペインに入ったから日本産と同等なものがつくれるかという質問には驚いた」と述べた。

「Forum Gastronomic」で和牛肉のプロモーションを行った。

セミナーと試食行う

参加事業者はミートコンパニオン、伊藤ハム、エスフーズ、全農インタナショナル欧州、ANZO FOODS UZCO FOODS U

日本畜産物輸出促進協

K. あいさつに立った中央畜産会の伊地知俊一専務理事は和牛統一マークの紹介、和牛の飼ひ方、和牛肉の特徴を紹介しな

ト実演、日本食・スライスの普及、和牛肉の調理実演、参加事業者のPRタイム、和牛肉の試食提供などが行われた。

サンカクバラの韓国風バーベキュー、リアブ羅斯のステーキが観客の前で調理され、4日間・12回のセミナーで試食に供

【肉事協】①肉用牛売却所得の課税特例措置の延長(所得税、法人税、地方税)②生産資材価格の引き下げおよび畜産物の流通加工構造の改革に必要な税制上の措置(法人税、登録免許税、地方税など)の2点。生産者の経営安定のため、

和牛肉の特徴を紹介しな

割・整形・商品化が行われ、和牛のステーキが調理され、和牛香や脂肪の融点

会場ではスペイン産和

自民党の農林・食料戦略調査会などの合同会議が11月2日、党内で開かれ、平成29年度農林・食料関係税制改正に対する団体要望を受けた。主要な要求は次のとおり。

和牛肉の特徴を紹介しな

会場ではスペイン産和

自民党の農林・食料戦略調査会などの合同会議が11月2日、党内で開かれ、平成29年度農林・食料関係税制改正に対する団体要望を受けた。主要な要求は次のとおり。

【全国肉用牛振興基金協会】要望事項は肉用牛の売却による農業所得の課税の特例措置の適用期限の延長(所得税、法人税、地方税)。同措置を講ずることにより、規模拡大などによる経営体制の強化により経営の安定を図り、国民から求められる国産牛肉の安定供給を確保するなどとして

関係団体要望受け

食品関係 農食戦略

配合飼料、生産資材などの価格引き下げや畜産物の流通加工構造の改革が促進されるよう2点を要請している。

会場ではスペイン産和